

N8160-84 外付 RDX

ファームウェアアップデート手順

RDX 装置をお買い上げいただきましてありがとうございます。本書は N8160-84 外付 RDX のファームウェアアップデート手順を記載しています。

1. 概要

N8160-84 外付 RDX のファームウェアを「**2040**」にアップデートします。外付 RDX のファームウェアが「**2038**」またはこれより古い場合ファームウェアアップデートを実施してください。

Windows 環境でのファームウェアアップデートは、GUI ツールである **RDX Tools (RDX Utility)** を使用方法とコマンドラインでのファームウェアアップデートツール (**RdxCodeLoad.exe**) を使用方法があります。

Linux 環境でのファームウェアアップデートはコマンドラインでのファームウェアアップデートツール (**RDXCodeload**)を使用します。

2. 変更内容

外付 RDX 用ファームウェア「**2040**」には以下の修正が含まれます。

- ・カートリッジ挿入時の処理の改善
- ・RDX 装置内部管理データの最適化

3. 必要部材

手順書(本書)に加え、事前に以下の部材があることを確認してください。

OS	必要部材
Windows	1) ファームウェアデータ ※1
	2) アップデートツール (RDX Tools または RdxCodeLoad.exe) ※2
Linux	1) ファームウェアデータ ※1
	2) アップデートツール (RDXCodeload)

※1: N8160-84 外付RDX用ファームウェアデータ:「**2040_USB_REDBUD_NEC.bip**」

※2: RDX Toolsはサーバへのインストールが必要となります。RDX Toolsにはファームウェアアップデートの機能を持ったRDX Utilityとイジェクトボタンの制御をするサービスが含まれます。ツールのインストールができない環境の場合、コマンドラインツールのRdxCodeLoad.exeを利用してください。

4. 適用手順

4-1. 事前準備

ファームウェアアップデート前に以下の作業を実施してください。

4-1-1. RDX データカートリッジの取り出し

RDXデータカートリッジはRDX装置から取り出しておいてください。

4-1-2. バックアップソフト、関係するサービスの停止

バックアップソフトやバックアップソフトのサービス、その他RDX装置にアクセスする可能性のあるソフトウェアは停止してください。

4-1-3. ドライブレターの設定

ファームウェアアップデート作業でRDX装置のドライブレターが変更される場合があります。作業前にRDX装置のドライブレターを記録し、ドライブレターが変更された場合は作業後にドライブレターを設定しなおしてください。

4-1-4. 各環境でのアップデート

Windows版GUIツールのRDX Utilityを使用する場合、**4-2**項に進んでください。

Windows版コマンドラインツールのRdxCodeLoad.exeを使用する場合は**4-3**項に進んでください。

Linux版コマンドラインツールのRDXCodeLoadを使用する場合**4-4**項に進んでください。

4-2. Windows 向けファームウェアアップデート手順 – RDX Utility 版 –

4-2-1. RDX Tools のインストール手順

RDX Toolsをインストール済みの場合、**4-2-2**項に進んでください。

RDX Toolsをインストールすることで、RDX Utilityとイジェクトボタンの制御をするサービスがインストールされます。インストールには管理者としてログインするか、管理者権限を持っている必要があります。

4-2-1-1. 「**RDX Tools 1_48**」のフォルダを開き、「**setup.exe**」ファイルを実行します。

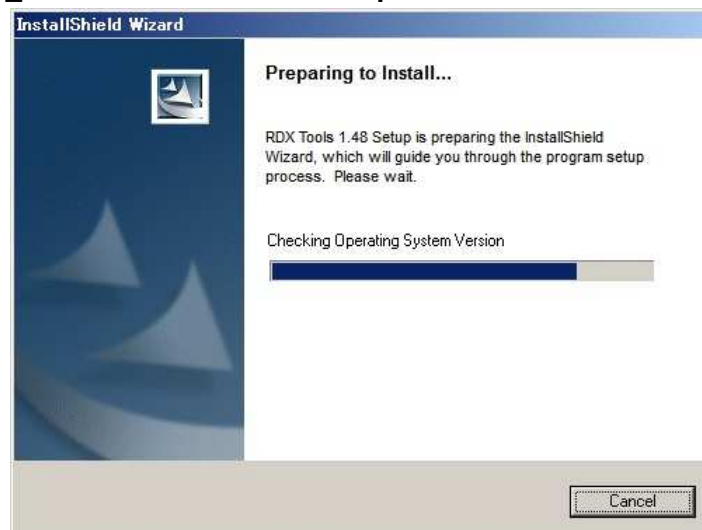


図1 RDX Tools インストール画面1

4-2-1-2. 画面の指示に従いインストールを進めます。

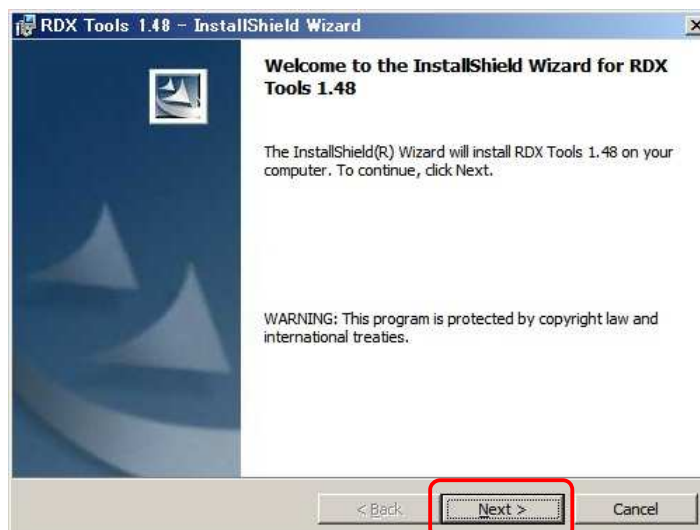


図 2 RDX Tools インストール画面2

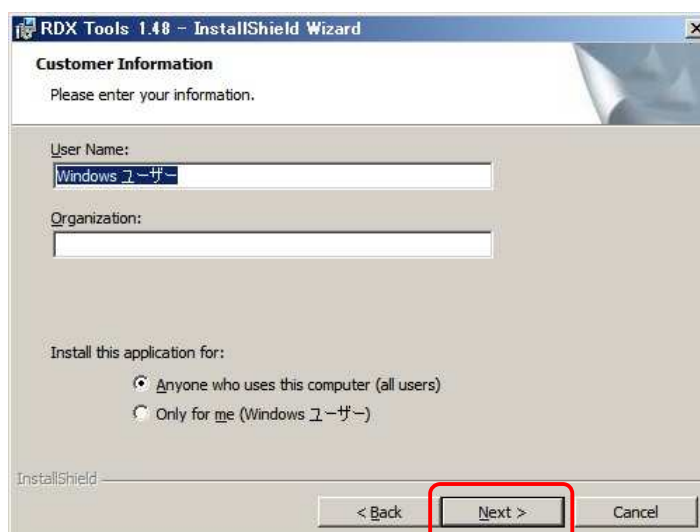


図 3 RDX Tools インストール画面3

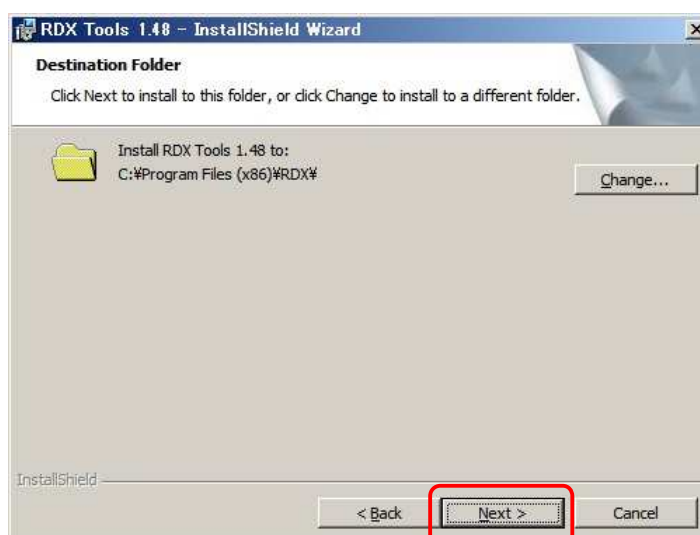


図 4 RDX Tools インストール画面4

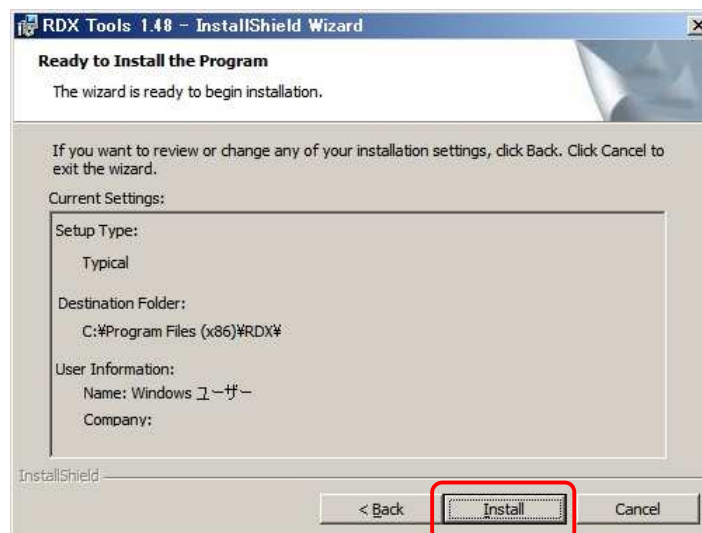


図 5 RDX Tools インストール画面5

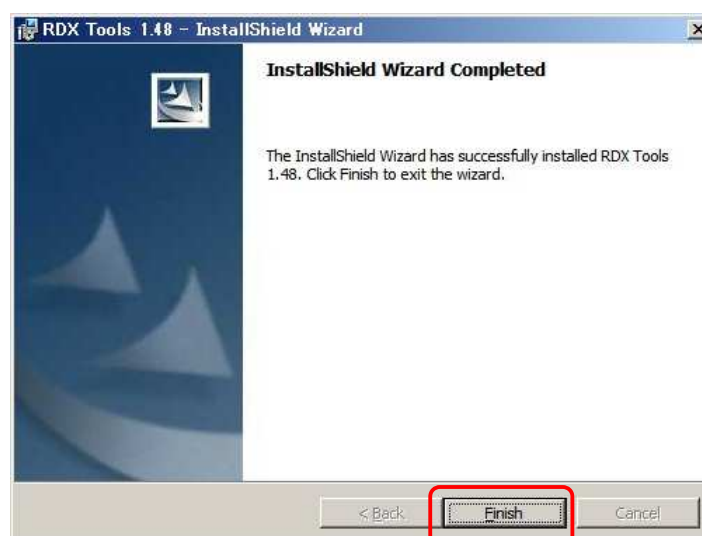


図 6 RDX Tools インストール完了画面

- 4-2-1-3. インストール終了後は、図 7 の画面が表示されます。「Yes」を選択して本体装置の再起動を実施してください。

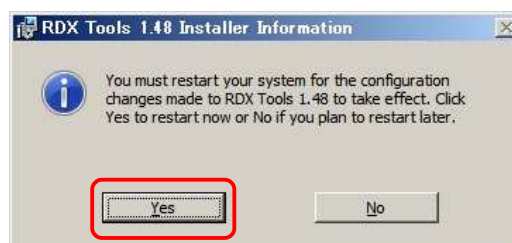


図 7 再起動要求画面

- 4-2-1-4. 再起動後に「コントロールパネル」-「プログラムと機能」から「RDX Tools 1.48」が追加されていることを確認します。

- 4-2-1-5. RDX Tools のインストールは完了です。

4-2-2. ファームウェアアップデート

ファームウェアデータ「2040」使用してください。

4-2-2-1. 4-2-1 項でインストールした「RDX Utility」を起動します。

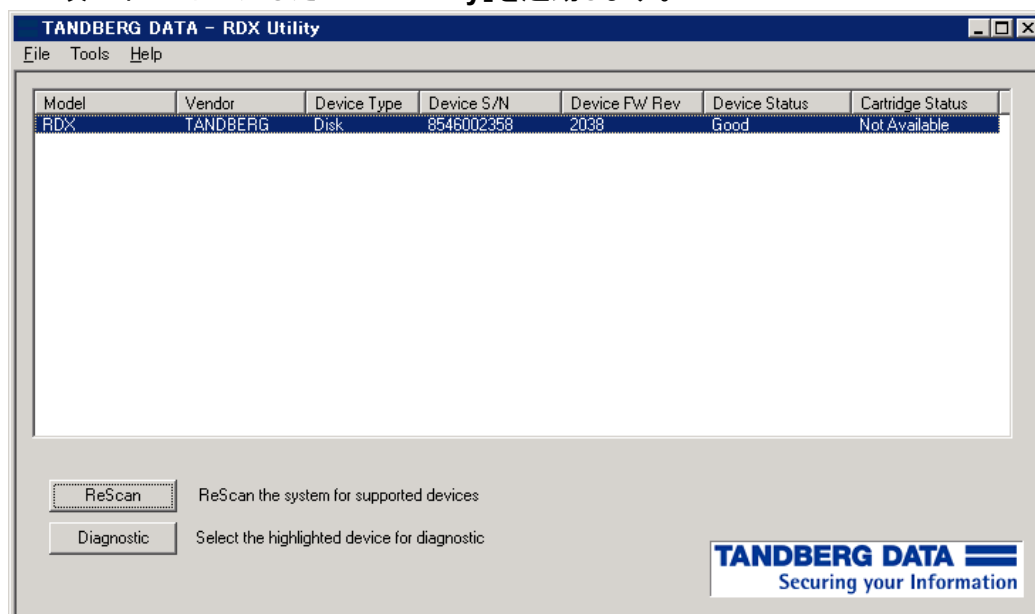


図 8 RDX Utility 起動画面

4-2-2-2. RDX Utility の「**Device FW Rev**」の項目で、ファームウェアレビジョンを確認してください。外付 RDX は「2038」またはこれより古い場合、ファームウェアアップデートを実施してください。ファームウェアが「2040」の場合、ファームウェアアップデートは必要ありません。

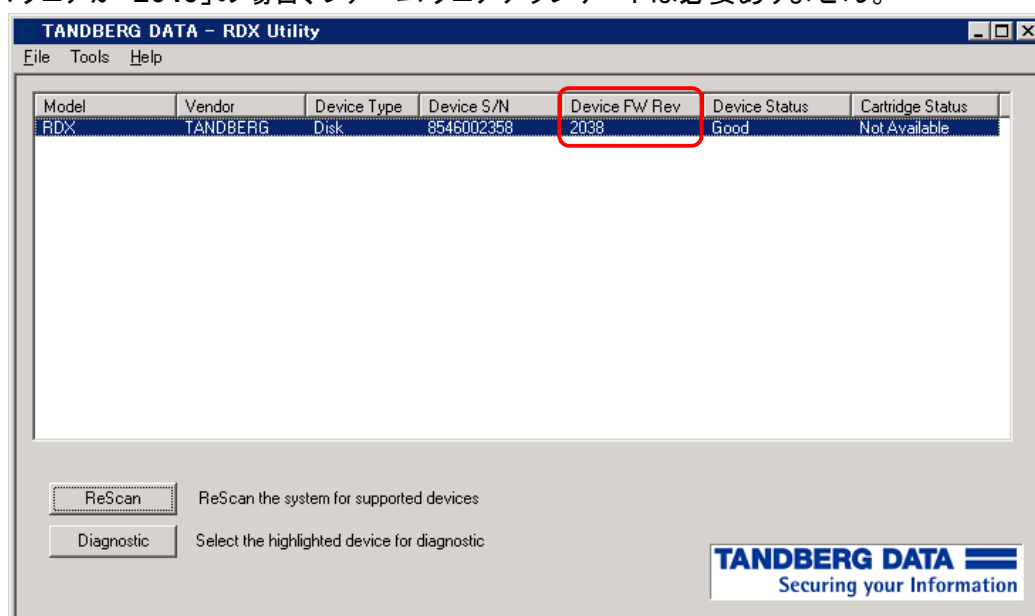


図 9 ファームウェア確認

4-2-2-3. 「Diagnostic」をクリックします。

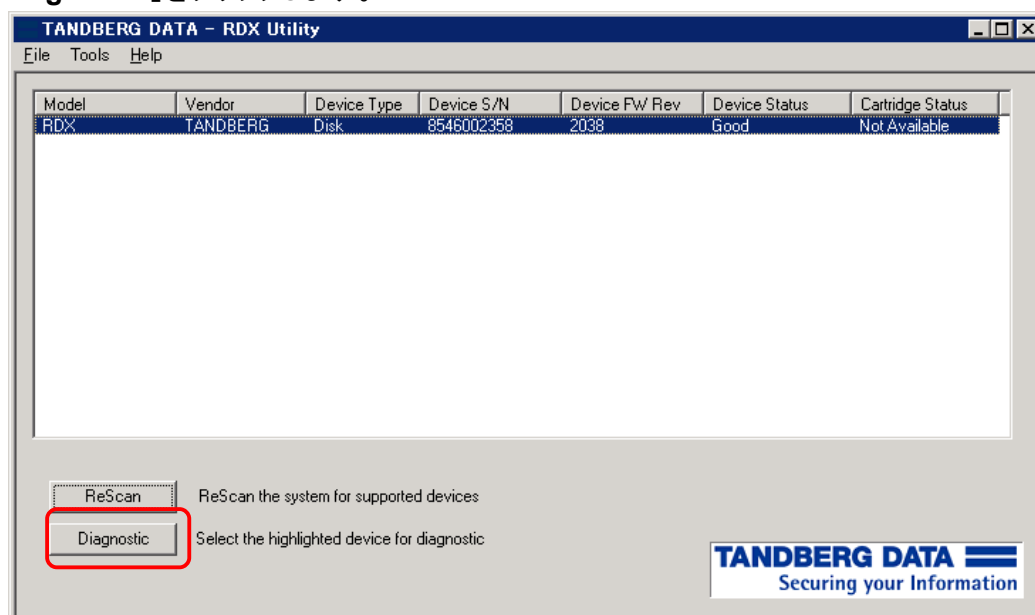


図 10 ファームウェアアップデート準備1

4-2-2-4. 「Utility」のタブをクリックします。

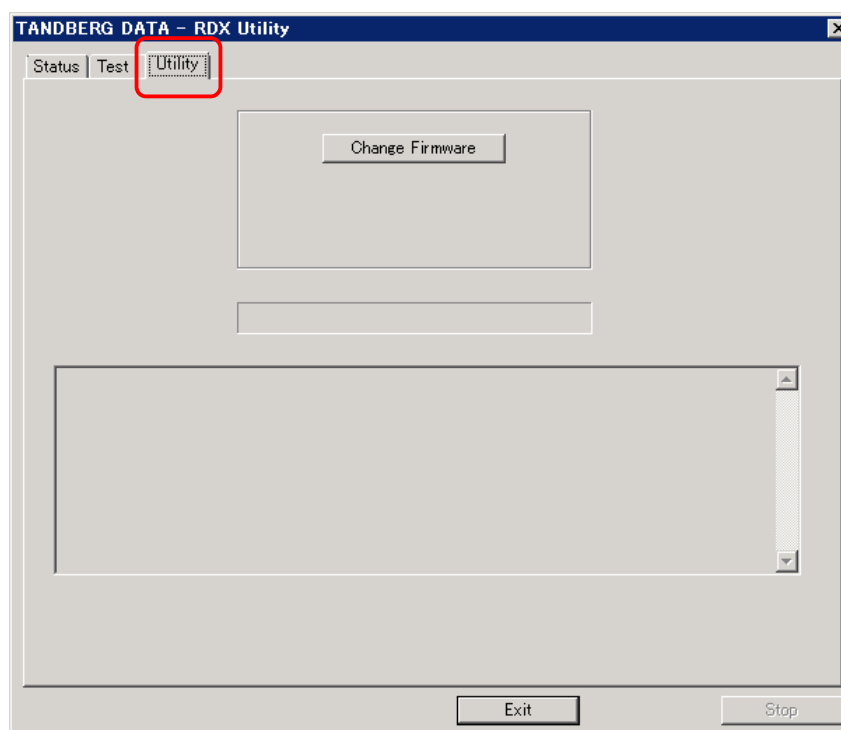


図 11 ファームウェアアップデート準備2

4-2-2-5. 「Change Firmware」をクリックします。

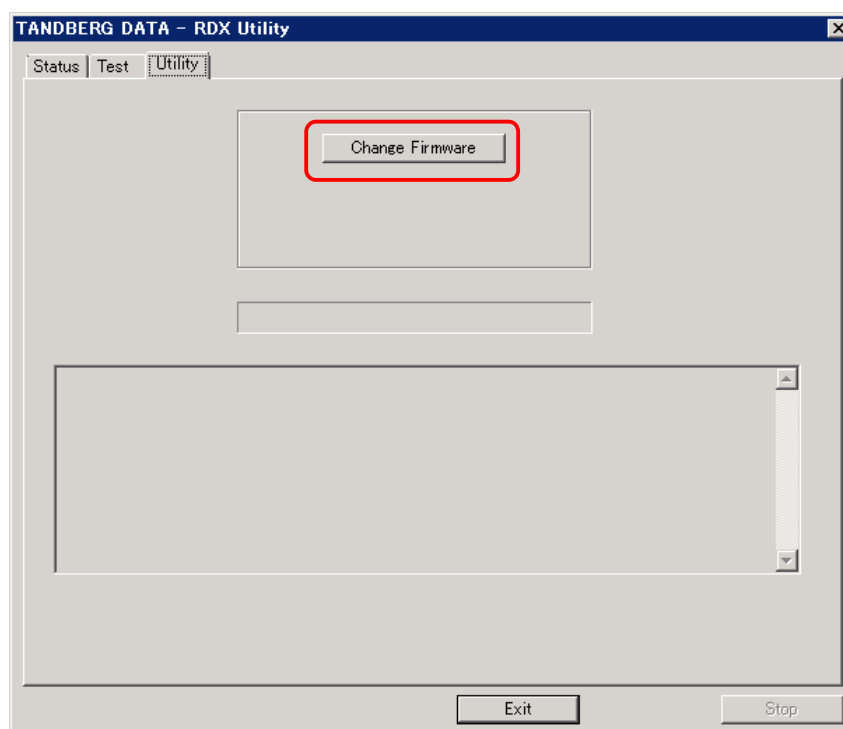


図 12 ファームウェアアップデート3

4-2-2-6. ファームウェアデータを選択し「開く」をクリックします。

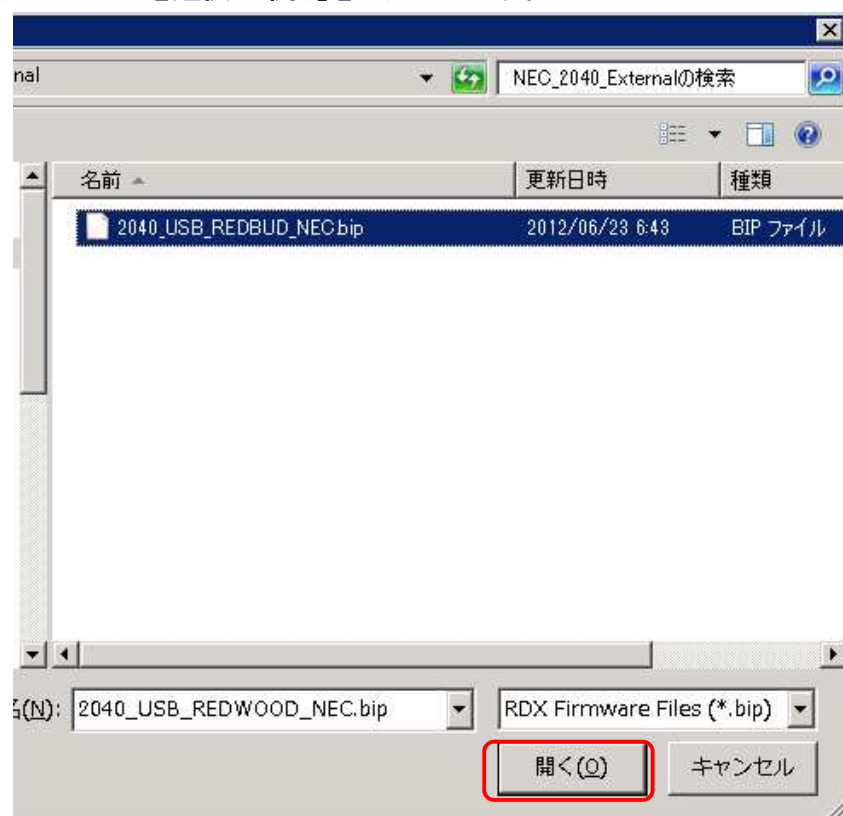


図 13 ファームウェアデータ選択

- 4-2-2-7. RDX Utility の「**Device FW Rev**」の項目で、ファームウェアバージョンが「**2040**」に更新されたことを確認してください。

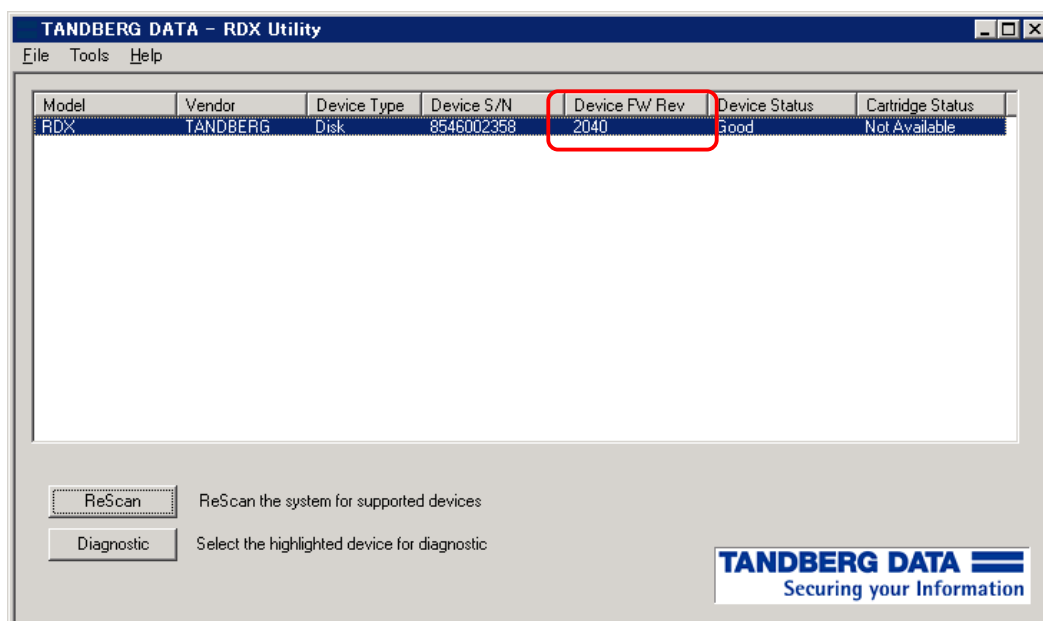


図 14 ファームウェア適用確認

- 4-2-2-8. サーバの再起動を実施してください。
- 4-2-2-9. 以上でファームウェアアップデート作業は完了です。RDX Tools が不要な場合は「コントロールパネル」-「プログラムと機能」からアンインストールを実施してください。

4-3. Windows 向けファームウェアアップデート手順 –コマンドラインツール版–

ファームウェアアップデートツール (RdxCodeLoad.exe)、ファームウェアデータ (2040_USB_REDBUD_NEC.bip)を「c:¥」に保存した環境での手順を示します。

4-3-1. ファームウェアアップデート

4-3-1-1. コマンドプロンプトを起動し、「**RdxCodeLoad.exe**」を保存したフォルダに移動します。

4-3-1-2. ファームウェアレビジョンを確認します。コマンドプロンプトに“**RdxCodeLoad.exe -s**”を入力して実行すると、図 15 の下線部に現在のファームウェアレビジョンが表示されます。ファームウェアが「**2038**」またはこれより古い場合、アップデートを実施してください。「**2040**」の場合、ファームウェアアップデートは必要ありません。

```
C:¥>RdxCodeLoad.exe -s
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<Inventory>
  <Device number="1" type="Int USB">
    <Firmware> version="2038" </Firmware>
  </Device>
</Inventory>
```

図 15 現在のファームウェアレビジョン確認

4-3-1-3. ファームウェアをアップデートします。

コマンドプロンプトに

“**RdxCodeLoad.exe -d -u -p c:¥2040_USB_REDBUD_NEC.bip**”を入力して実行することでファームウェアアップデートが実施されます。図 16 の下線部に「**CodeLoad Successful!**」が表示されていれば、ファームウェアアップデートは成功です。

```
C:¥>RdxCodeLoad.exe -d -u -p c:¥2040_USB_REDBUD_NEC.bip
Scanning for devices...
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<CodeLoad>
  <Device number="1" type="Int USB">
    <Firmware> version="2038" </Firmware>
    <Package> version="2040" </Package>
    Starting codeLoad to device 1
    <Status result="pass">
      CodeLoad Successful!
      <Message="0">Update successful.. </Message>
    </Status>
  </Device>
</CodeLoad>
```

図 16 ファームウェアアップデート

- 4-3-1-4. ファームウェアバージョンを確認します。コマンドプロンプトに“**RdxCodeLoad.exe -s**”を入力して実行すると図 17 の下線部にファームウェアバージョンが表示されます。ファームウェアバージョンが「**2040**」に更新されたことを確認してください。

```
C:\>RdxCodeLoad.exe -s  
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>  
<Inventory>  
    <Device number="1" type="Int USB">  
        <Firmware> version="2040" </Firmware>  
    </Device>  
</Inventory>
```

図 17 ファームウェア適用確認

- 4-3-1-5. サーバの再起動を実施してください。
- 4-3-1-6. 以上でファームウェアアップデート作業は完了です。

4-4. Linux 向けファームウェアアップデート手順

Linux 向けファームウェアアップデートツール(RDXCodeload)は 32bit バイナリの為、64bit 環境で動作させる場合には 32bit ライブラリが必要となります。事前に「glibc」および「glibc-devel」の 32bit 版パッケージをインストールしてください。

4-4-1. ファームウェアアップデート

ファームウェアアップデートツール (RDXCodeload) とファームウェアデータ (2040_USB_REDBUD_NEC.bip)を Rdxcodeload ディレクトリに保存した環境を示します。

- 4-4-1-1. ファームウェアアップデートツール「**RDXCodeload**」に実行権限「**x**」があるか確認します。RDXCodeload のディレクトリで「**ls -l**」を実行してください。

```
[root@localhost Rdxcodeload]# ls -l
合計 596
-rw-r--r--. 1 root root XXXXXX  6月 29 00:10 2012 2040_USB_REDBUD_NEC.bip
-rw-r--r--. 1 root root XXXXXX  6月 27 04:26 2012 RDXCodeload
```

図 18 実行権限確認

- 4-4-1-2. 図 18 のように RDXCodeload に実行権限「**x**」がない場合、「**chmod a+x ./RDXCodeload**」を実行して実行権限を付与してください。

```
[root@localhost Rdxcodeload]# chmod a+x ./RDXCodeload
[root@localhost Rdxcodeload]# ls -l
合計 596
-rw-r--r--. 1 root root XXXXXX  6月 29 00:10 2012 2040_USB_REDBUD_NEC.bip
-rwxr-xr-x. 1 root root XXXXXX  6月 27 04:26 2012 RDXCodeload
```

図 19 実行権限付与

- 4-4-1-3. ファームウェアレビジョンを確認します。「**RDXCodeload -s**」を入力して実行すると、図 20 の下線部に現在のファームウェアレビジョンが表示されます。外付 RDX は「**2038**」またはこれより古い場合、ファームウェアアップデートを実施してください。ファームウェアが「**2040**」の場合、ファームウェアアップデートは必要ありません。

```
[root@localhost Rdxcodeload]# ./RDXCodeload -s
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<Inventory>
  <Device number="1" type=" Internal USB">
    <Firmware> version="2038" </Firmware>
  </Device>
</Inventory>
```

図 20 現在のファームウェアレビジョン確認

4-4-1-4. ファームウェアをアップデートします。

"**RDXCodeload -d -u -p ./2040_USB_REDBUD_NEC.bip**"を入力して実行することでファームウェアアップデートが実施されます。図 21 の下線部に「**Codeload Successful!**」が表示されていれば、ファームウェアアップデートは成功です。

```
[root@localhost Rdxcode]# ./RDXCodeload -d -u -p ./2040_USB_REDBUD_NEC.bip
Scanning for devices...
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<CodeLoad>
    <Device number="1" type=" Internal USB">
        <Firmware> version="2038" </Firmware>
        <Package> version="2040" </Package>
Starting codeload to device 1
    <Status result="pass">
Codeload Successful!
        <Message="0">Update successful.. </Message>
    </Status>
    </Device>
</CodeLoad>
[root@localhost Rdxcode]#
```

図 21 ファームウェアアップデート

4-4-1-5. ファームウェアレビジョンを確認します。“**RDXCodeload -s**”を入力して実行すると、図 22 の下線部に現在のファームウェアレビジョンが表示されます。ファームウェアレビジョンが「**2040**」に更新されたことを確認してください。

```
[root@localhost Rdxcode]# ./RDXCodeload -s
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<Inventory>
    <Device number="1" type=" Internal USB">
        <Firmware> version="2040" </Firmware>
    </Device>
</Inventory>
```

図 22 ファームウェア適用確認

4-4-1-6. サーバの再起動を実施してください。

4-4-1-7. 以上でファームウェアアップデート作業は完了です。